

## R 6 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	家庭・服飾文化(普・森・イ)	単位数	2	担当者	橋爪
---	----	-------	----------------	-----	---	-----	----

### 1. 教科書・副教材

服飾文化（文部科学省）
-------------

### 2. 科目の目標

家庭基礎・家庭総合で学んだ内容をもとに、服飾の変遷と文化、着装などに関する知識と技術を習得するとともに、服飾文化の伝承と創造に役立てる能力と態度を身につける。
---

### 3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲	
前期	4月	・服飾文化を学ぶにあたり ・ミシンの使い方	・学習目標や内容、方法を理解する。 ・ミシンの基本的な使い方に加え、 用具や糸等に関する学習する。	35	作品提出	
	5月					
	6月	・日本の服飾と暮らしの背景	・伝統行事や季節などの服飾の関わりや、郷土に根ざした文化について学ぶ。		35	作品提出
	7月					
	8月					
9月						
後期	10月	・西洋の服飾と暮らしの背景	・西洋の服飾と生活との関わりや伝統工芸を学ぶ。 ・作品制作を通して服飾の文化を学ぶ。	35		作品提出
	11月					
	12月	・世界の服飾と暮らしの背景	・世界の服飾や伝統工芸から暮らしとのつながりを通じた文化を学ぶ。  ・衣生活の環境への影響を知り、新たな服飾文化の創造について考える。 ・これまでの学習と関わらせて課題を設定し取り組む。		35	作品提出
	1月	・服飾文化の創造				
	2月					
	3月					

### 4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	基礎的・基本的な知識・技術を身につけることができたか	提出物（作品・レポートなど）を総合的に判断する。
思考・判断・表現	内容から課題を見つけ、解決に向けて思考判断し、それを自分なりに表現することができたか	提出物（作品・レポートなど）、発表などを総合的に判断する。
主体的に学習に取り組む態度	内容に関心を持ち、主体的に取り組む姿勢が見られるか	提出物（作品・レポート・宿題など）、授業態度（出欠、授業や実習への取り組み）などを総合的に判断する。

### 5. 学習にあたっての注意とアドバイス

<p>(1) 道具や材料の取り扱いに注意して、安全に留意しましょう。</p> <p>(2) 授業で配布されるプリントはファイルに整理して保管しておくこと。</p> <p>(3) 作品の出来栄とともに、提出状況と制作に対する意欲や態度、創意工夫を重視します。</p> <p>(4) 内容は、進度や教材の状態により変更する場合があります。</p>
---